

指定管理者評価表(外部評価シート)

1. 基本事項

		評価対象期間	平成28年4月1日 ~ 平成30年3月31日	
施設の概要		指定管理の状況		
名称	やすらぎ館デイサービスセンター	指定管理者	名称	社会福祉法人 慈恵会
所在地	可児市兼山1011番地1		所在地	美濃加茂市下米田町東柵井81番地の2
設置目的	高齢者人口の増加に伴い、要支援認定者、要介護認定者が増加し、介護保険のサービス給付を必要とされる方が、今後も増加していく中で、在宅系介護サービス事業の最も中心であるデイサービス事業に対する需要はますます高まっています。 また、利用者や家族等における介護保険の施設系サービス思考が高まる中で、その必要性が高い利用者にとって、施設系サービスに入所できるまでの間においては、デイサービスセンターの必要性は高く、家族の介護負担の軽減化に大いに寄与するため。	指定管理期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日 (3期目)	
		選定種別	<input checked="" type="radio"/> 公募 · <input type="radio"/> 非公募	利用料金制
供用開始年月	平成5年5月	業務内容	センターの運営、利用手続き、施設及び設備の維持管理、備品の維持管理、環境維持管理、施設設備の修繕	
施設所管部署	福祉部 高齢福祉課			

2. 施設の運営状況

利用状況

項目	平成28年度(1年目)	平成29年度(2年目)
開館日数	245 日	244 日
施設利用者数	2,955 人	2,696 人
施設稼働率	58.6 %	61.1 %

自主事業実施状況

項目	平成28年度(1年目)	平成29年度(2年目)
開催回数	- 回	- 回
参加人数	- 人	- 人

主な自主事業の内容

実施年度	事業の名称等	参加人数
		人
		人
		人
		人
		人
		人
		人

3. 収支状況

収入

単位:円

項目	平成28年度(1年目)	平成29年度(2年目)	
	実績	計画	実績
指定管理料	0	0	0
利用料収入	2,237,570	2,473,000	2,057,860
居宅介護費	25,196,130	27,982,000	22,284,040
退職共済給付金収入		10,000	743,350
その他	1,500	527,000	1,500
収入計 A	27,435,200	30,992,000	25,086,750

支出

単位:円

項目	平成28年度(1年目)	平成29年度(2年目)	
	実績	計画	実績
人件費	21,802,969	23,680,000	23,163,540
管理費			
事業費	4,563,691	5,254,000	4,745,726
事務費	1,613,535	1,866,000	1,396,145
その他支出	1,500		1,500
退職共済預け金支出	191,820	192,000	181,730
支出計 B	28,173,515	30,992,000	29,488,641
収支 A-B	-738,315	0	-4,401,891

4. 評価結果

区分	評価項目	評価内容	一次評価(施設所管課)		二次評価(選定評価委員会)	
			評価理由等	評価	評価理由等	評価
業務の履行	事業計画書及び協定書に掲げる業務の実施状況	事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されているか	確実に実行されている	B	・規模に見合った、概ね適切な運営がなされている。	B
	人員配置及び職員研修の状況	必要な人員が確保され、職員研修も実施されているか	法令に定められた人員が確保されていて、研修等も実施されている	B		
	文書・帳簿の管理保存状況	管理業務に関する文書・帳簿は適切に整理保管されているか	整理保管されている	B		
	施設設備・備品の保守管理の実施状況	管理施設の設備・備品の保守管理状況は適切か	職員、専門業者の定期点検により適切な状況を維持している	B		
	緊急時の対応方法	緊急時の対応マニュアルや事後の対応への備えができていないか	併設の老人福祉センターと連携し、マニュアルが整備され、対応されている	B		
	利用者の推移	利用者が特別な事情がないにもかかわらず前年度に比べ減少していないか	地域密着型通所介護施設へ移行した影響による減少	B		
サービスの水準	サービス向上及び経営改善に関する独自の取り組み	サービス向上等に向けた独自の取り組みは実施されているか	取組実施されている	B	・隣接する老人福祉センターと連携しながらサービスを提供している。	B
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者の施設満足度は高いか	満足度は良好である	B		
	PR・情報提供の実施状況	様々な方法により、積極的なPRや情報提供が行われているか	HPや、センター手作りのパンフレット等にて情報提供実施	B		
	苦情処理の状況	苦情に関する帳簿が作成され、内容は職員に周知され、適切な対応がなされているか	苦情・事故発生時の体制整備済みで、報告も定期的に行われている	B		
収支状況	指定管理経費の経理事務の状況	指定管理費に関する経理事務は適正に行われているか	収入が当初計画より減となっているなか、それに見合った経理処理努力が行われている	B	・経費削減には限度があるので、利用者を増加させる努力が必要である。	B
	指定管理者施設の財務状況	指定管理者施設の財務状況は適正か	赤字となっているが、利用者減少によるものである。収入減に対する経理処理努力は行われている。	B		
総合評価			収支状況は赤字となっているが、経営努力はおこなわれており、それ以外についても良好である。指定管理者として、概ね計画に沿った運営管理が行われていると判断する。	B	「所見」欄に記載	B

所見	<ul style="list-style-type: none"> ・収支状況以外は、概ね適切に実施されている。 ・地域の住民が少ないが、今後も高齢化が進むことが見込まれるので、利用者増に向けて努めてください。 ・地域に密着した施設として今後も運営してください。
----	---

5. 参考(評価基準)

区分別評価基準

業務の履行

評価	内 容
A	適切に実施されており、より効果的に業務が実施されている
B	適切に実施されており、特に改善等を要する事項はない
C	おおむね適切に実施されているが、その一部に改善を必要とする事項が見受けられる
D	要求事項が実施されてないか、実施されていても適切ではないため大幅な改善が必要である

サービスの水準

評価	内 容
A	サービス水準の向上が認められ、独自の工夫も多く見受けられる
B	サービス水準はおおむね維持されている
C	サービス水準の一部に低下が見られ、サービス向上の努力が必要である
D	サービス水準が低下していると認められるため、サービス向上に向けた大幅な改善が必要である

収支状況

評価	内 容
A	収支は計画に比べ向上が見られる。財務状況も良好である
B	収支はおおむね計画どおりと認められる。財務状況は良好である
C	収支のいずれか、又は両方が計画を達成していない。財務状況は良好である
D	収支のいずれも計画を達成していない。財務状況も良好とはいえない

総合評価基準(評価指標の どれか一つの基準を採用し、評価を決定する)

評価	内 容
A	全ての評価がB以上で、Aの割合が60%以上である
	適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない
B	全ての評価がB以上で、Aの割合が60%未満である
	おおむね適切に実施されており、評価できる点もあるが、軽微な事項を含め改善が必要な事項がある
C	A・Bに該当せず、Dの割合が30%以下である
	適切に実施されている部分もあるが、改善が必要と思われる重要な事項もある
D	上記のいずれの評価にも該当しない
	改善が必要と思われる重要な事項が多く、早急な改善が必要である